

No. 6 Fさん	28歳（男性）
I. 前就労期（学歴, 職歴, 生活習慣, 対人行動, 気持ち） <ul style="list-style-type: none"> ・ 高卒後に放送系専門学校へ。卒業後、その専門領域でアルバイトをする。 ・ 2, 3年後に自分の才能を「見極め」、その道を諦める。判断力がなかったと振り返って思う。 	
II. 未就労期（きっかけ, 生活習慣, 対人行動, 気持ち, 継続要因） <ul style="list-style-type: none"> ・ 親には「さっさと就職しろ」と言われるが、面接でも職歴が無い点、年齢的な点で落とされる。 ・ アルバイトはしたが、職歴のなさが負い目に感じられ、人に会いたくなくなってくる。 	
III. 被支援期（きっかけ, 支援内容とその長短, 影響や変化, 気持ち） <ul style="list-style-type: none"> ・ 親がテレビで見たのをきっかけに、自分でネットで調べ入塾。少しでも変化したいと思って。 ・ 良かった支援は、自立塾では自分の考えを頭ごなしに否定されない点。家庭的な雰囲気もよかった（朝のおはようの挨拶など。） ・ 栽培作業など黙々とやる作業に取り組み、自分の仕事のペースがわりと速いことに喜び。 ・ 就職模擬面接をして、歩き方や話し方などに「ダメ出し」を受ける。実際に役に立った経験。 ・ 支援上良くなかった点は、ルーズすぎる点。休み時間が長い。時間どおりにカリキュラムが始まらない。内容が予定と変わる。社会人としての「心構え」に大事と思う。 ・ また日ごとの活動だけでなく、継続してできるものが欲しかった。 ・ 当初説明にあったように職場体験などもっと外に出る活動が欲しかった。 ・ 人付き合いに関しては、スタッフと話す中で前ほど気負わなくなった。自分の中だけで悪い方に考えて意欲をなくしていたが、似た境遇の人と会って話すことで考え方が変わった。 	
IV. 現在（就労のきっかけ, 気持ち, 成長可能性, 今後の考え） <ul style="list-style-type: none"> ・ 今は、職を探しつつ食品配送のアルバイト。正社員になれる可能性もある。 ・ 友達とはあまり会わない。似た境遇の人と少し話す程度でそれほど深くはない。上司とのコミュニケーションは難しい。 ・ 今後はとにかく職歴として通じる職につきたい。 ・ 支えは「焦り」・「何とかしなくては」という自分の心。長所は「忍耐力」。 ・ 自立塾を知る機会が増えたほうが良いとのこと。 	